

シンガポールでサービス産業の成長と生産性向上について考える

開倫塾

塾長 林 明夫

1. おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。
2. 10月に入りました。読書の秋ということで読書週間、新聞を読もうということで新聞週間と、読書と新聞についてのたくさんの話題が新聞やラジオ・テレビで取り上げられています。
3. 学力を上げる基本の1つは、文字に多く触れることです。ですから、本を読んだり新聞を読んだりすることはとても大事です。読書の秋ですので、図書館や本屋さんで自分の気に入った本を探してじっくりと読んでいただきたいと思います。また、御自宅で新聞を取っている方も多いと思いますので、一面からじっくりと読んで、世の中で何が起きているのか・自分の身近で何が起きているのかを知っていただきたいと思います。新聞を取っていない方は、図書館等に行ってお読みいただければと思います。
4. ところで、私は10月3日・4日・5日にシンガポールに行ってきましたので、今日はそのお話をさせていただきます。シンガポールに行った目的は、日本の輸出や輸入を助けるジェトロ(日本貿易振興機構)と経済産業省のサービス政策課が「日本とシンガポールの戦略的パートナーシップに向けて」というテーマで主催なさったサービス産業の成長と生産性向上のための会議に参加するためです。
5. 日本もシンガポールもサービス産業が非常に盛んです。そのため、日本のサービス産業がもっともっとシンガポールに進出し、そのあとにシンガポールの方々と協力して他のアジアの国々に進出することを、日本政府も、ジェトロ(日本貿易振興機構)も、シンガポール政府も促進しています。私が参加した会議は、そのためにはどうしたらよいかを話し合う会議でした。
6. 日本と同様に、シンガポールでもサービス産業の生産性は非常に低いです。サービス産業に携わっている方は、製造業の方に比べて少し収入が少なく、また、サービス残業といいますが、労働時間が長いという悩みを持っています。ですから、「どうやったらサービス産業の生産性を向上させ、質の高いサービスが提供できるか」ということが会議の主なテーマでした。私も学習塾を経営しており、塾もサービス産業の1つですので、どのようなサービスを提供すれば消費者である塾生の皆様・保護者の皆様・地域社会の皆様にご満足いただけるか、開倫塾で働いている500人ぐらいの方

々に満足のいく待遇が保障できるか、そのようなことがいつもいつも頭の中にあります。ですから、これは非常にありがたいセミナーだと思って参加させていただきました。

7. 一緒に行ったのは、カーブスというスポーツジムの社長さん、ルネサンスというフィットネスクラブの社長さん、料金が 1000 円のカットで非常に有名な Q Bハウスの社長さん、スーパーホテルの社長さんなど、日本でサービス産業をやっている方々です。私もその中の一人として会議に参加させていただきました。その会議でシンガポールの方々に一番言われたことは、「シンガポールの人々は小さい頃から勉強しているので、英語が非常に堪能である。また、リーダーシップとマネジメントが非常に得意であるから、日本の方々、特にサービス産業の方々にシンガポールに進出してお店を 1 つ開いてもらい、シンガポールの国民のためにサービスを提供していただきたい。それでアジアのことをよく理解してから、シンガポールを拠点にして隣のマレーシア、インドネシア、タイ、フィリピンなどのアジアの国々に進出していただきたい。」ということでした。
8. 「例えば、公文式という素晴らしい学習塾は、アジアとアセアンの本部をシンガポールに置き、ベトナムやインドネシア、タイ、オーストラリア、ニュージーランドなどにたくさんの教室を出されている。日本人の方は少ないが、各国の現地の方々を公文式の先生として、また、国全体の公文式を統括するマネジャーとして採用している。そして、シンガポールの方々を中心にして各国の先生方やマネジャーの方に活躍してもらい、何十万、何百万の生徒さんたちを公文式という名前の元で教えている。」ということもおっしゃっていました。加えて、「開倫塾も早く海外に進出してください。そのときには、まずはシンガポールを拠点にしてくださいね。」とお願いされました。
9. 開倫塾はまだ小さな規模の塾ですので、栃木県と群馬県と茨城県で 60 数箇所しかやっていません。生徒さんも 7000 名ぐらいで公文式さんとは一緒にできませんが、2020 年に東京オリンピック・パラリンピックが開催されますので、その頃までには海外でも開倫塾という名前の塾をやりたいとなど秘かに思っている次第です。
10. シンガポールには 2 年前にも行きました。そのときと同様にショッピングセンターの中にある Q Bハウス(1000 円でカットしてくださる床屋さん)に行って 2 年前と同じ方からサービスを受けました。日本の Q Bハウスのサービスは素晴らしいですが、シンガポールの Q Bハウスも素晴らしいサービスで、これ以上ないというカットをやっていただき非常に満足しました。ただ、ちょっと残念だったのは、2 年前は 10 シンガポールドルだった料金が今回は 12 シンガポールドルになっていたことです。物価が毎年 5%以上上がり、賃金も相当上がっているので値上げをさせていただきましたということでした。
11. 10 月 3 日・4 日・5 日の 3 日間、シンガポールに行き「サービス産業の海外展開」というテーマの会議に参加しましたので、今日はそのお話をさせていただきました。英語はちゃんと勉強しておかないと海外に行っても難しいと思いましたので、英語をもう少し勉強したいなと思いました。